

第3学年1組 体育科学習指導案

令和5年10月25日（水） 第6時限（体育館）

指導者 鷲見 昌彦

1 単元 表現運動（さあ！行こう！大げさ探検隊！）

2 単元のもつ魅力について

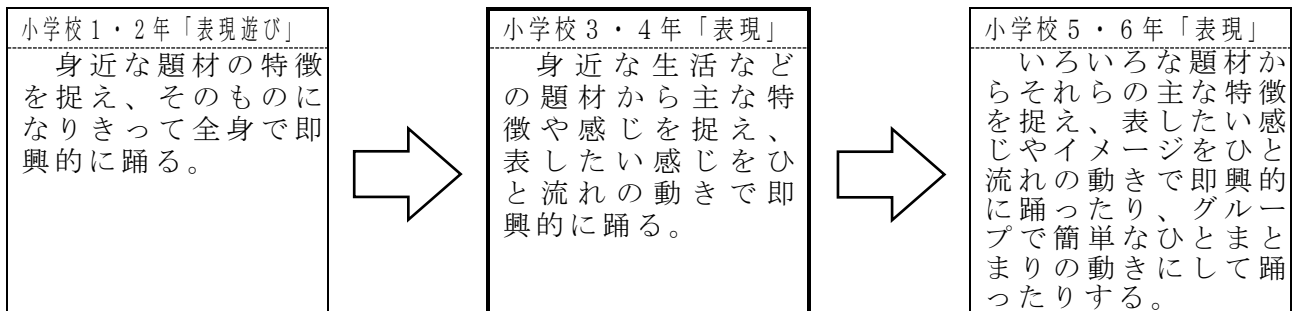
中学年の表現運動は、「表現」と「リズムダンス」で構成されている。中でも「表現」は、自己の心身を解き放し、イメージの世界に没入してなりきって踊ることが楽しい運動である。また、友達と動きや考えを認め合ったり、一緒に踊ったりして友達と関わり合いながら踊ることができることも「表現」の魅力の一つである。

3 取り上げる単元について

(1) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 表現の行い方を知っている。 題材から主な特徴を捉え、表したい感じを中心に動きを誇張したり変化を付けたりして、メリハリのあるひと流れの動きにして即興的に踊ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己の能力に適した課題を見付け、題材の特徴を捉えた踊り方や交流の仕方を工夫している。 考えたことを友達に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 表現に進んで取り組もうとしている。 誰とでも仲よく踊ったり、友達の動きや考えを認めたりしようとしている。 場の安全に気を付けている。

(2) 関連する学習内容



(3) 単元と子どもの関係

本単元では「大げさ探検隊になろう」という学習課題を基に学習を進める。本単元で目指す「大げさ」とは、例えば、遅く動くや速く動くなど動きに変化を付けたり、より遅く動くやより速く動くなど動きを誇張したりすることである。しかし、子どもに「大げさに踊ってみよう」と伝えても、大げさに踊ることがどのようなことなのかが分からず、同じ動きを繰り返したり、体の一部だけしか動かさなかったりすることが考えられる。

そこで、まず、教師主導で行う「一緒にやってみタイム」を通して、大げさに踊ることができるように支援していく。次に、教師主導で学んだことを基に、踊り方を自分で考え、決定する「工夫しタイム」を行う。「工夫しタイム」では、表現する題材がかかれたカルタを使用する。子どもはカルタにかかっている情報を手掛かりにして、どのように踊るかを自分で考えながら即興的に踊っていく。教師はつまづいている子どもに声かけをしたり、大げさに踊っている子どもを称賛したり、周りに紹介したりしながら支援していく。

4 単元の評価計画と指導計画（5時間完了）

知…知識・技能 **思**…思考・判断・表現 **態**…主体的に学習に取り組む態度

場面	時数	観点	評価規準とその方法	主な学習活動
導入	1	1	態 ○ 「一緒にやってみタイム」で、他の子どもとぶつからないように、安全を確かめて踊っている。 【活動の様子】 ○ 「工夫しタイム」で、ペアで仲よく踊ったり、動きを認めたりしている。 【活動の様子】	1 表現運動の学習の進め方を知り、新聞紙になりきる活動に取り組む。
展開	3	1	知 ○ 大ー小の動きを取り入れて、ひと流れの動きで即興的に踊っている。 【動きの観察】 ○ 表現の行い方について、知ったことを言ったり、書いたりしている。 【発言・学習カード】	2 大ー小の動きを取り入れてひと流れの動きで即興的に踊る。
		1	知 ○ 遅ー速の動きを取り入れて、ひと流れの動きで即興的に踊っている。 【動きの観察】	3 遅ー速の動きを取り入れてひと流れの動きで即興的に踊る。
			思 ○ 大げさに踊るためにどうすればよいかを考え、踊り方を工夫している。 【活動の様子・学習カード】	
		1	知 ○ 硬ー軟の動きを取り入れて、ひと流れの動きで即興的に踊っている。 【動きの観察】	4 硬ー軟の動きを取り入れてひと流れの動きで即興的に踊る。
			思 ○ どのように硬ー軟の動きを取り入れて踊ったかを周りの友達やペアに伝えている。 【発言】	
		まとめ	1	1
知 ○ 大ー小や遅ー速、硬ー軟といった動きを取り入れながら、ひと流れの動きにしてペアで即興的に踊っている。 【動きの観察】				

単元末に期待される具体的な子どもの姿

はじめはどのように踊ればよいか分からなかったが、「一緒にやってみタイム」で先生や友達と一緒に踊ったから、大げさに踊ることが分かった。また、「工夫しタイム」では、カルタを何枚もめくって、踊り方を自分で決めながら、大げさに踊ることができた。大げさに踊るためにどうすればよいかを考えて、友達に伝えたり、工夫して一緒に踊ったりすることができた。大げさに踊ることに対して、最初は踊れるかどうか不安な気持ちもあったけど、先生や友達と一緒に踊ったから楽しく踊ることができた。

5 本時の指導


(1) 目標

- ・ 大ー小の動きを取り入れて、ひと流れの動きで即興的に踊ることができるようにする。 (知識・技能)
- ・ 表現の行い方について、知ったことを言ったり、書いたりすることができるようにする。 (知識・技能)

(2) 準備

ビブス、ホワイトボード、指導用太鼓、カルタ、学習カード

(3) 指導過程

時間	学習活動と予想される子どもの様子	指導上の留意点
1分 3分 1分	<p>1 集合・挨拶をする。</p> <p>2 全力体じゃんけんを行う。</p> <p>3 本時のめあてを知る。</p>	<p>○ 裸足で足の指先まで使って踊ることを伝えておく。</p> <p>○ 素早く整列させ、服装の確認、健康観察をする。</p> <p>○ 見学者は、体を動かす活動には参加しないが、友達のよい動きを見付けたり、友達を称賛したりして、授業に参加することを伝える。</p> <p>○ 教師の太鼓の合図で近くの友達とペアをつくり、教師の掛け声で全身を使ってじゃんけんをし、体をほぐさせる。</p> <p>○ 喜びや悔しさを全身を使って大げさに表現している子どもを称賛する。</p> <p>○ 大きく動いたり、小さく動いたりして大げさに踊ることが本時のめあてであることを伝える。</p>
<p>本時のめあて：大きく動いたり、小さく動いたりして、大げさに表現しよう。</p>		
32分 (10分)	<p>4 「さあ！いこう！大げさ探検隊！」に取り組む。</p> <p>(1) 「一緒にやってみタイム」で、教師の声かけを聞いたり、踊りを見たりしながら踊る。</p> <div data-bbox="256 1115 756 1429" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>予想される子どもの様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 思い切り跳んで大きく動いたりするものもあれば、体を丸めて小さく動いたりするものもあることが分かった。 ・ 「一緒にやってみタイム」で先生や友達と一緒に動いたからどのように動けばよいか分かった。 </div>	<div data-bbox="772 891 965 1059" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>打ち上げ花火が ドカン！ドカン！</p>  <p>線香花火が パチパチパチ</p> </div> <p>【教師が提示するカルタの例】 カルタには大ー小の動きを引き出すために、1枚のカルタに大ー小の題材を載せておく。文章だけでは想像することが難しいと判断した題材はイラストも載せる。</p> <p>○ はじめは教師が題材のかかれたカルタを提示し、教師と子どもで、大きく動いたり、小さく動いたりしながら踊る。</p> <p>○ 次のカルタをめくるときには、教師が先導し、草をかき分けたり、泳いだりしながら次のカルタに向かう。</p> <p>○ 教師の提示したカルタに対し、子どもが即興的に踊り、よい動きを教師が取り上げたり、一緒に踊ったりしながら、学級全体に共有する。</p>
<p>教師とのやり取りの一部（打ち上げ花火がドカン！ドカン！ 線香花火がパチパチパチ）</p> <p>教「このカルタには何がかかっているかな？」</p> <p>子「打ち上げ花火と線香花火だ！」</p> <p>教「まずは打ち上げ花火だ！どう動く？」</p> <p>子 思い切り跳んだり、腕や脚を広げて何度も跳んだりする</p> <p>教「大きく動かせていいね！頭が天井に届くくらい思い切り跳んでみよう！」</p> <p>教「次は線香花火だよ！どう動く？」</p> <p>子 腕や脚を曲げたり伸ばしたりして打ち上げ花火のときより小さく動いている</p> <p>教「さっきの打ち上げ花火のときよりも小さく動いているね！」</p>		
(22分)	<p>(2) 「工夫しタイム」で、自ら踊り方を自己決定しながら踊る。</p>	<p>○ 体を大きく動かしたり、小さく動かしたりして、大げさに踊ることのできている子どもを称賛する。</p> <p>○ 体育館全体に置かれたカルタをペアでめくって、即興的に踊る活動に取り組むことを伝える。</p> <p>○ 床に置かれたカルタを踏んだり、他のペアとぶつかったりしないように、気を付けて取り組むことを伝える。</p>

「工夫しタイム」の行い方
 ※ 「工夫しタイム」はペアで行う。
 ① 教師の太鼓の合図で、工夫しタイムを開始する。
 ② ペアで1枚のカルタを一緒にめくる。
 ③ 題材を確認し、二人で大一小の両方の題材を即興的に踊る。
 ④ カルタを裏返して次のカルタをめくりに行く。
 子どもは②～④を繰り返す。

予想される子どもの様子
 ・ カルタにかかれていることを見て、大きい動きや小さい動きで踊ることができた。
 ・ 友達の踊りを見てまねをしたら、もっと大げさに踊りたいと思った。

- 同じ題材でも様々な表現の仕方があるということを実感することができるように、一度めくったカルタと同じカルタをめくった場合は、1回目とは違う動きで即興的に踊ることを伝える。
- 友達の動きを見て、よい動きがあれば進んで取り入れていくことを伝える。
- 踊り方を自己決定することが難しい子どもには、カルタの題材を見せながら「腕や脚はどのように動かすといいかな」などの声かけをしたり、一緒に踊ったりして支援する。
- 草をかき分けたり、いかだに乗ったりしてジャングルを探検する様子を表現しながら移動している子どもを称賛する。
- 大きく動いたり、小さく動いたりして大げさに踊ることができている子どもを称賛したり、全体で共有したりする。
- 共有するときは、よい動きを見るだけでなく、一緒に踊ることでよい動きを体で感じるように促す。
- 共有するときは、すぐにまねして踊り出すことができるように、立ったまま友達の踊りを見るようにする。
- 共有した動きを取り入れ、大げさに踊れている子どもを称賛する。

評価事項①
 大一小の動きを取り入れて、ひと流れの動きで即興的に踊っている。
 【動きの観察】(知識・技能)
 … 「腕や脚をどのように動かすといいかな」など声かけをしたり、教師と一緒に踊ったりする。
 … 手や足の指先や、頭まで意識をして、より大げさに踊ることを目指して取り組むように伝える。

7分 5 本時のめあてに対するまとめをして、自分の取組を振り返る。

- 集合するときに、近くのカルタを回収することを伝える。
- 本日の取組を学習カードにまとめ、振り返らせる。

評価事項②
 表現の行い方について、知ったことを言ったり、書いたりしている。
 【発言・学習カード】(知識・技能)
 … 「どのようなことを頑張って踊ったのかな」や「どのような動きをしたのかな」など、本時で学習したことを引き出すような声かけをする。
 … 体をどのように動かして大一小の動きを表現したのか、体の部位に着目して書くように伝える。

1分 6 整理運動をする。

- 痛めた箇所がないかを確認しながら整理運動を行わせる。

本時の終わりに期待される具体的な子どもの姿・考え：
 はじめは大きく動いたり、小さく動いたりして大げさに踊ることは不安だった。でも、「一緒にやってみタイム」で、いくつかのカルタを先生と一緒に踊ったから、どのように大きく動いたり、小さく動いたりして踊ればよいか分かった。いろいろなカルタがあったけど、「一緒にやってみタイム」で先生やみんなと一緒に踊ったから、「工夫しタイム」でもペアでカルタをめくりながら、すぐに踊ることができた。